

製品表示等の情報提供の方法に関する自治体アンケート結果

環境省
大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

自治体の廃棄物行政担当者に向け、国の水銀対策の概要、市町村等における水銀使用廃製品の回収事例集、市町村における回収事例、分別回収ガイドラインを説明し、自治体における水銀使用廃製品の回収が環境上適正に行われることを目的とした「市町村・清掃事務組合等を対象とした水銀使用廃製品の回収に関するセミナー」が国内3会場で開催された（主催：環境省）。

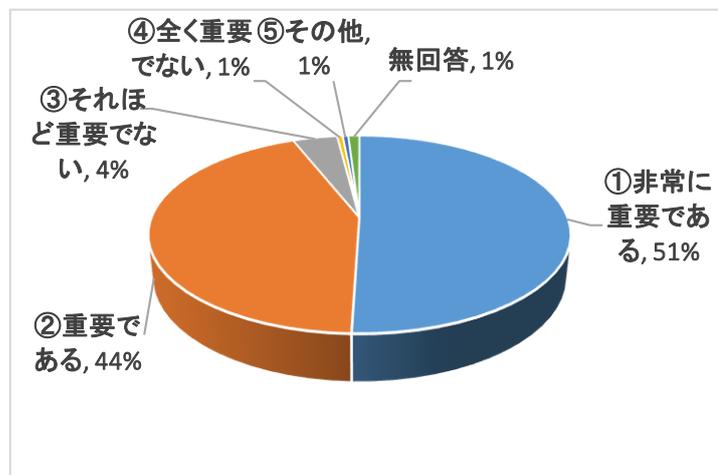
表：水銀使用廃製品の回収に関するセミナー（平成27年12月）開催結果概要

会場	日時	参加者（講演者、事務局除く）
東京	平成27年12月1日	計125名（特別区31名、市町村57名、一部事務組合21名、都道府県10名、関連法人6名）
広島	平成27年12月11日	計45名（市町村30名、一部事務組合6名、都道府県8名、関連法人1名）
仙台	平成27年12月17日	計44名（市町村24名、一部事務組合10名、都道府県9名、関連法人1名）

セミナーの参加者に対して実施したアンケート結果のうち、製品表示等の情報提供に関連する項目の結果は次のとおりである。なお、セミナー出席者214名のうちアンケート回答者数は200名、回収率は93%であった。

Q1：分別回収に製品の表示は重要か

項目	回答数
①非常に重要である	101
②重要である	87
③それほど重要でない	8
④全く重要でない	1
⑤その他	1
無回答	2
合計	200



「非常に重要である」及び「重要である」を合わせると90%を超える結果となり、製品における表示は重要であると考えている自治体が多いことがわかった。

Q2：製品表示必要・不必要の理由、表示への要望・提案

製品表示	意見
<p>必要 (回答①、 ②関連)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・LED や、すぐに水銀使用製品と分からない品物があるため、水銀含有のある場合には製品に表示があると、より分別の精度が高まると思われる ・ペット、プラ等のリサイクル表示は有効となっているものの、水銀電池等の小型品について表示がされていない等、排出時の判断する材料がないことによる分別上の課題があるのではないか ・パッケージはともかく、製品そのものへの表示が無いと、住民からの問い合わせに対し回答できない ・排出者、収集員共に判断しやすくなるため ・メーカーが廃棄方法や分別について知識不足であると感じる。正しい分別方法や、水銀使用製品を可燃で排出する危険性を住民へ周知するためにパッケージへの表示は重要であると思う ・本セミナー参加者のような人は表示がなくてもわかるが、大部分の消費者、特に高齢者は表示がないと全くわからないと思う。一目ではっきりと”水銀使用”とわかるデザインの表示にしてほしい ・一般市民にとっては、その製品に水銀が使われているかどうかはよく分からず、また分別回収する重要性も理解されにくいいため、一目で水銀が入っていると分かるような表示が望ましい、他
<p>不必要 (回答③ 関連)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、製造される水銀使用製品は減少することが予想されるため、新たな製品に表示をする重要性は高くないと考える、他

製品表示に関する要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・今後分別回収を行っていくにあたり、市民に対し分別の判断材料となるため、製品の見やすい位置又は製品説明のところに「水銀使用」とわかりやすく表示してほしい ・一般住民は表示がないと分からない。また、拡大生産者責任の考え方により、メーカーが改めてリスト等をつくる必要が有ると思う。表示は分かりやすくしてほしい ・排出する住民が分からなかったら意味がないため、他の識別マーク（プラマークやPETマークなど）とは異なる形のマークが良いと思う。製品及び箱との両方への記載が望ましい、他

以上